

茶道裏千家淡交会青年部
北海道ブロック HP
<http://hokkaidoblock.grupo.jp/>

全道の青年部の活動が掲載されて
おります。ぜひご覧ください。

平成 29 年度
青年部会員募集中

お申し込みは先生を通じて
各青年部部長まで願います。

近年はデータ化が進み、四
つの青年部合同発行の「青檜」
編集作業も効率的にやりとり
ができるようになりました。
それでも顔を合わせて編集会
議を行い、各青年部の活動が
それぞれのお世話になってい
る多くの方々にご覧いただけ
ることに喜びを感じておりま
す。
諸先輩方に築いていただい
たこと、広告主および関係者
の方にご協力いただきました
こと、深く感謝申し上げます。
今後とも、変わらぬご指導
を宜しくお願い致します。

編集後記

創業大正12年、味と信用を
ほこる札幌の老舗

御料理仕出し、弁当、貸席

老久一本店

TEL.521-0143

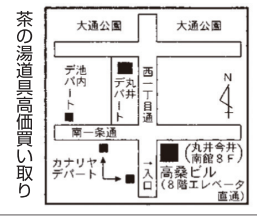
出会いを
大切にします



株式会社 オオタカ

本社 札幌市中央区南1条西1丁目高桑ビル8F
☎(011) 762-3812
南一条店 札幌市中央区南1条西1丁目丸井今井南館8F
☎(011) 242-5428
新川営業所 札幌市北区新川2条7丁目1-10
☎(011) 762-3812
函館店 函館市柏木町3-17
☎(0138) 53-9502

- 取扱品
- 千家十職作品
- 新、古茶道具
- 掛軸の表具
- 茶碗、水指等の補修
- 現代著名作家作品
- お稽古用品全般
- 桐箱、盗蓋、牙蓋等の補修



歴史にはぐくまれた着物、その着物の心を伝えていきたい。

呉服舗
琴似角磯ハブタイ屋

札幌市西区琴似1条5丁目3-17 琴似本通り角磯ビル1F ☎(631)7874

創業弘化四年
新・古茶道美術品商

清音 やました

〒060-0002 札幌市中央区北2条西14丁目3-11
TEL 011(281)4566 FAX 011(207)5663
URL <http://www.seishodo.com>

三八はお菓子の
おいしさを大切に
しております。

春夏秋冬
銘菓 四季羊かん
栗栗子の傑作
銘菓 栗くわし

札幌菓子處
三八菓舗

本社 札幌市中央区南1条西12丁目 ☎271-1138

出会いの感動を刻む

KEIO PLAZA HOTEL SAPPORO

京王プラザホテル札幌

〒060-0005 札幌市中央区北5条西7丁目2番地1
TEL.011-271-0111(代表)

<https://www.keioplaza-sapporo.co.jp/>

茶のある暮らし
茶の湯道具 駿河屋

営業時間 / 午前9時半~午後6時半 定休日 / 毎週日曜日
中央区南3条西2丁目 K T 三条ビル1F (旧HBC三条ビル)
TEL(011)231-5006 FAX 231-5013
K T 三条ビル茶道教室 中央区南3条西2丁目
TEL(011)222-1454

茶道と共に菓子一筋
磨きぬかれた技術の粋
四季おりおりの情緒豊かな
主菓子・干菓子
山親爺・ノースマン

さわやかな北国の味
お菓子の 千秋庵 創業 大正10年
札幌市中央区南3条西3 ☎(011)251-6131(代)

清野きわ司法書士事務所

女性司法書士 清野 紀和 (きわ)

相続手続 会社設立登記 不動産登記 成年後見

札幌市北区北23条西5丁目2-33 フラワービル4F
www.office-seino.net

札幌司法書士会会員 (登録番号 第496号 簡裁訴訟代理認定番号 第243068号)

初回相談無料 ☎011(758)1262 要事前予約

受付時間 / 平日8:30~17:30 (土日祝日休み)

「伝える」から「伝わる」へ

HATAMOTO
www.hatamoto.cc

青 楡

全国の青年部会員が集まり、交流を深めるナショナルコンファレンスが六月十七日から十九日まで、福島県のいわき市で開催されました。今回は、初めて京都、東京以外の地での開催となりました。

茶道裏千家淡交会青年部 ナショナルコンファレンス2016inいわき

— 誇りと情熱 —



いわき市は、地震や津波の被害のみならず、原発事故の影響から、風評被害を大きく受けている地域です。坐忘齋お家元がこの地に関わる方々の心の復興のために、少しでも協力できることをさせていただきとうのご意向で、いわきでの開催になりました。一日目は、いわき支部・いわき青年部による呈茶に続いて、お茶湯の議、開会式、坐忘齋お家元による、東日本大震災からの本当の復興、本当のボランティアとは？という内容の講演をしていただきました。夜は懇親会で地元食

をいただきながら、全国の青年部会員と交流をいたしました。今回は、自分で茶杓を竹から削って作り、それを参加者の中で交換するという試みがなされました。茶杓を交換した方と一緒に写真を撮り交流を深め、とても良い思い出になりました。



二日目は、コース別研修会で参加者はそれぞれ十一のコースに分かれて研修に参加し、午後からは、コース別研修の報告会を行い、その後坐忘齋お家元と会津青年会議所の坂田敦志氏との対談を拝聴しました。東日本大震災から五年がたちましたが、未だに仮設住宅にお住まいの方が大勢いらっしゃる事や原発事故による人口の減少など、被災地にとって本当の復興はまだまだ果して得ていないという事を、改めて知る機会となりました。三日間の貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。



五月二十一日(土)、函館国際ホテルにて北海道ブロック研修会が開催されました。晴れ間が広がる天気にも恵まれ、総本部や青年部全国委員会などのご来賓、全道各地の先生、また札幌からも多くの青年部会員が参加しました。研修Ⅰでは総本部報告が行われ、研修Ⅱでは、千家十職十四代黒田正玄様によるご講演をいただき、竹の伐採から水抜き、さらに火鉢での脂抜き行程など大変興味深いお話でした。その後は海の幸をふんだんにご用意いただいた懇親会と続きました。北海道ブロックの結束を確認し、また青年部活動の楽しさを実感できる一日となりました。



七月三日(土)、道新ホールにて北海道地区定期巡回講演会が札幌第一支部・札幌第一青年部担当で開催されました。講師には野村美術館館長・谷晃先生をお招きし、「茶入のはなし」についてご講演いただきました。古田織部や小堀遠州の焼物との関わり、美術館で目にする茶入の歴史的な背景や見方など、茶入の奥深さを知ることが出来ました。また改めて茶入への関心を持つことができ、美術館で拝見することが楽しみにもなっていました。開演前には呈茶席が設けられ、ご来場いただいたお客様に、北海道の爽やかな夏の清涼感を感じていただきました。



・札幌第二青年部
五月二十八日、九月三日
・札幌第三青年部
六月十八日、十月二十二日
・札幌第四青年部
七月二日、十一月十九日
・無限碑清掃
四つの青年部交代で、無限碑の清掃を行っております。日々茶の道に携わらせていただいていることに感謝し、奉仕させていただいております。
綺麗になった無限碑に手を合わせると、清々しい気持ちになり、毎回自分たちの心まで洗われるようです。
今年度は次のとおり、七回の清掃活動を行いました。
・札幌第一青年部
七月三十日
・札幌第二青年部
五月二十八日、九月三日
・札幌第三青年部
六月十八日、十月二十二日
・札幌第四青年部
七月二日、十一月十九日

題字 井口海仙先生筆

発行責任者

札幌第一青年部
部長 木野 奈美

札幌第二青年部
部長 川本 聖

札幌第三青年部
部長 梅田 直子

札幌第四青年部
部長 鏡 浩二

編集責任者

札幌第一青年部
福井 由希
近藤 和恵
齊藤 景色

札幌第二青年部
岡田万里子
高橋 洋平
高橋 祐香

札幌第三青年部
阿部真由美
押尾紗有里

札幌第四青年部
森田ひとみ
津幡 笑

利 休 道 歌

目にも見よ 耳にもふれよ
香を嗅ぎて
ことを問ひつゝ、よく合点せよ

無 限 碑 清 掃

札幌第一青年部

札幌第一青年部茶会



四月十日(日)、北海道茶道会館にて「春想う」をテーマに札幌第一青年部茶会を行いました。会員六十二名が参加し、二百十四名と多くのお客様様にお越しいただきました。

待合は野点傘と花屏風を用い、花を愛でながら茶席を待つ設えにしました。茶券は卒業生が描いた四種の花をあしらった葉にし、茶券と同じ絵と花言葉が書かれたカードと、東北に震災復興への想いを馳せ取り寄せた仙台駄菓子をお持ち帰りいただく「花合せ」の趣向としました。

二階点心席では床に福本積應和尚筆「燕の巣よるこび」の色紙を掛け、水盤に福草・路の蔓・つくしを設えました。点心は季節の厳選した食材を使い大徳寺麩に市松蒲鉾や曙海老、筍饅頭に桜の花を添え

た煮物椀など目にも楽しい心尽くしの点心と、手作り箸袋でおもてなしいたしました。

嘉祥軒の薄茶席では、床に坐忘齋御家元筆「雲無心」を掛けました。さえずる鳥の姿が描かれた花入に白の八重佐助と水木を入れ、誰ヶ袖棚に春の野花が描かれた水指で、お菓子は膨らんだ桜の蕾の姿で銘を「花だより」とし一足早い春を楽しんでいただきました。



北海道開拓の村呈茶

六月十二日(日)、北海道開拓の村にて市民呈茶を行いました。天候を考慮し久しぶりに室内でのお呈茶となり、旧武井商店の趣のある建物で立礼席を行いました。野点傘に前田宗源筆の短冊「山水有



清音」、風鈴釜に遠山時絵内朱の裏。茶杓は会員作で銘を「緑風」とした初夏の趣向でお客様に茶道を身近に感じて頂くことができました。また茶道体験コーナーでは、子ども達の楽しい表情が溢れ微笑ましい様子でした。

今年二十六名の会員が参加し多くの先生や卒業生はじめ、およそ二百三十名ものお客様にご来場いただきました。

研修行事

八月七日(日)、札幌市生涯学習センターちえりあで「簡単!楽しい!手作り和菓子」と題した研修行事が行われ、午前、午後の部合わせて三十名の青年部会員が参加しました。干菓子や金魚の泳ぐ姿が美しい流物など三種のお菓子を制作しました。見た目にも涼しくかわいらしいお菓子に自然に笑顔があふれました。

八月二十八日(日)に行われた札幌第一支部 学校茶道・青年部合同交流茶会では、行事の経験を活かして学生にお菓子作り体験の指導をし、とても好評でした。



札幌第二青年部

札幌第二青年部 学校茶道合同茶会

十月二日(日)、北海道茶道会館において札幌第二青年部・学校茶道合同茶会を開催いたしました。

中山道夫副支部長、眞鍋宗洋幹事長先生はじめ、お社中、先輩の皆様、札幌の青年部の皆様にもお越しいただきました。

今年のテーマは、読書の秋にちなみ『文の茶会』でした。嘉祥軒の濃茶席では、主菓子「つくし牧田」様をお迎えし、銘を『須磨』としました。青年部に入ったばかりの人もおり、不慣れなところもあり



ましたが、心を込めておもてなしに努めました。点心席では、料理はもちろん箸置きや野点傘を用いるなど工夫を凝らしたと喜ばれました。二階の薄茶席は、この合同茶会での学校茶道では初めて、坐忘齋お家元御好みの和親棚を用い、生徒の皆さんは戸惑いながらも一生懸命お点前をしていました。

自身で作った菓子を味わいながらいただいた一服は味わい深いものでした。

和菓子作り体験

六月五日(日)、札幌市男女共同参画センターにおいて、和菓子作りを行いました。講師として、小樽市の和菓子処「つくし牧田」様をお迎えし、会員三二名が参加し、ねりきりを作りました。

今回体験した「菊、紫陽花、桜」の三種はそれぞれ難しさの違い、一見シンプルながらも意外な難所がありました。質疑応答の時間も設けていただき、ねりきりの要である「あん」の製造工程や、時代による嗜好の移り変わりなども教えていただきました。



札幌第二青年部 総会・交流会

三月二十七日(日)、裏千家北海道茶道会館三階大広間にて総会を行い、昨年度の行事・会計報告、今年度の行事予定・予算案に承認いただきました。

茶道文化を継承する者として青年部の活動を頑張つてほしいという嬉しいお言葉を、中山道夫副支部長、眞鍋宗洋幹事長先生に頂き、会員一同気が引き締まる思いでした。

総会後は、新入会員を交えて交流会を行いました。「お茶を始めたきっかけ」「青年部で楽しかったこと、やってみたいこと」「マイブーム」などを発表しあい、お互いの事を知りあえる大変楽しい時間でした。



札幌第二青年部

学校茶道交流会

六月五日(日)北海道茶道会館にて第二十八回学校茶道交流会を開催致しました。今年には二十五名の学生・生徒の皆様に参加いただき、吉野地区長様を始め親先生、お社中、茶道部の皆様をお迎えいたしました。

閏年を「潤う年」ともいうことから嘉祥軒では「夜の水辺」をテーマに、露に濡れた葉をイメージした主菓子に星空を思い起こして頂けるような取り合わせを、二階立礼席では「昼の川辺」をして自然豊かな川辺の清々しさを学生のお運びと一緒にお届けしおもてなしいたしました。

今年には高校の中間考査と日程が被ってしまったため、お手伝いの参加人数が例年よりも少なくありましたが、そのかわり参加してくださった学生・生徒の皆様にはいつも以上に水屋も交代でお手伝いいただき、茶筌振りや洗い場も熱心に励む姿は頼もしいものでした。



卒業茶会

寒気の中にも早春の息吹が感じられる二月七日(日)清昌堂やましたにおいて、卒業生お一方をお迎えして卒業茶会を行いました。

前日の二月六日の「初午」を趣向に席をあつらえまし。お濃茶席ではお床に前田宗源和尚の「清座一味友」を掛けさせていただき、お香合には雀を、主菓子には神社の鈴をかたどったものをご用意しました。



席を改めて立礼席では、会員がこの日のために削った茶杓を用いてお茶を点てさせていただき、お干菓子は狐面と鈴の緒を模した有平糖を京都の亀屋伊織より取り寄せいたしました。

長い間お世話になった先輩に感謝の気持ちを込めて楽しんでいただけるお席になるよう、会員一同精一杯おもてなしさせていただき、その後の会食も終始和やかな雰囲気で行われました。

組紐体験

木々が青々とし始めた四月二十九日、札幌市生涯学習センターちえりあにおいて帯締作りをいたしました。

訪れる夏の帯締で、十種類以上の色や質感の紐から事前に各自好きな色や着物の配色を考慮し、紐の色や組み合わせを選んで当日を迎えました。色の置き方で出来上がり模様が変わるので、経験者からアドバイスをもらい、思い思いに紐を並べて編み込みました。



手で編み込む作業のため得手不得手があり、時間がかかる会員もいましたが、参加者全員その日のうちに完成し、自分らしさが溢れる帯締めに皆大満足でした。完成した帯締めは学校茶道交流会でお披露目し好評を得ました。



札幌第四青年部

四茶会

七月三日(日)、北海道茶道会館にて、毎年恒例の札幌第四青年部の茶会が行われました。前日の豪雨からお天気が危ぶまれましたが、当日は晴れ間も見られ、多くの皆様にお越しいただきました。

今年には菓子席と薄茶席のご案内とさせていただきます。菓子席は飛行機の機内の趣向から機内食を模したお菓子をお出しし、南の島趣向の薄茶席へ。ほんのひと時ではありますが夏のバカンス気分をお楽しみいただきました。お越しいただいたお客様からも「楽しかった」など多くのお声をいただきました。



中島児童会館呈茶

八月二十日(土)、中島児童会館にて呈茶と茶道体験を行いました。小学生だけでなく小さなお子さんとお母さんも参加し、最初は皆緊張気味でしたがお菓子とお茶を一緒いただくうちに笑顔に変わっていく様子が、微笑ましく印象的でした。



茶碗作り研修会

四月二十四日(日)、札幌ファクトリーれんが館「陶楽」にて、夏の四茶会に向けての平茶碗作り研修会を行いました。先生の説明を聞きながら、各々で形を考えたり釉薬を選んで作り出した後、図案に沿って電動ろくろを動かしました。粘土を茶碗の形にしていくのを初めて体験する部員も多く、道具への関心をより一層深める体験となりました。



時計台市民呈茶

十月八日(土)、札幌時計台二階ホールにて、市民呈茶を行いました。来館された市民の皆さまや観光客の皆さまへお茶とお菓子を楽しんでいただき、短い交流の中でお茶の活動を知っていただけた時間となりました。



古帛紗作り研修会

六月五日(日)、清昌堂やました二階にて、古帛紗作り研修及び水無月の茶会を行いました。古帛紗は通年用と四茶会で使用できる夏用のものを二種類作成しました。裁縫が得意な方もそうでない方も、皆予想以上の出来映えの古帛紗を完成することができました。

